

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ハッピーテラス尾久教室		
○保護者評価実施期間	令和7年 11月 10日 ～ 令和7年 11月 30日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	39 (回答者数)	20
○従業者評価実施期間	令和7年 12月 1日 ～ 令和7年 12月 27日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9 (回答者数)	9
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 12月 27日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	様々な内容のトレーニングやイベントを取り入れることで、楽しんで活動に参加してもらえ、利用日数の増加にも繋がっていること。	・イベントは、季節に即したものと職員の提案などを取り入れるなど、毎月工夫を凝らしながら予定を立てている。 ・その日の利用人数やお子様の顔ぶれなどを考慮して、トレーニングやイベントの内容を組み立てている。	・常態化してしまっている物に関しては、新しいやり方や変化を取り入れていけるよう、職員間で意見を出し合って決めていけるような場を持つようにしていく。 ・好評を得ている内容については、繰り返し行うだけでなく変化を付けながら、飽きさせない工夫を考慮していく。
2	経験豊富な職員がお子様の対応に当たること、安心安全な環境で過ごしてもらえていること。	・各職員の適正を踏まえ、支援への参画方法や配置を考えている。 ・各職員の職歴や経験を活かせるような活動内容を取り入れるだけでなく、実施に際しては経験者のアドバイスや助言などを踏まえて進めている。	・より安心して過ごしてもらえるよう安全点検や衛生管理が徹底できるような仕組みを構築していく。 ・今後、職員の人数を増やす予定で、入職時には仕事内容や理念の伝達、研修を徹底して行う。
3	家庭の状況に応じて、臨機応変な利用が可能であること。	・利用人数の変動に対して、臨機応変に受け入れられるよう、常に準備をしている。 ・1日の利用上限を超えないよう、利用人数を調整し、急な利用に対応できるようにしている。	・早めのキャンセル待ち伝達など、利用に関して理解のしやすいようお知らせを徹底していく。 ・各ご家庭の利用傾向を把握して、受け入れの体制を整えられるようにしていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員の育成やスキルアップに関する取り組み(外部・内部研修、勉強会など)少ないこと。	・人員数の問題で、各職員に業務負担が掛からないようにしているため。 ・研修参加や勉強会実施に伴う費用や時間の負担軽減のため。	・今後、職員数を増やし、各職員の負担を分散することで余裕を作り、研修参加や勉強会実施に積極的に取り組んでいきたいと考えております。
2	日々の様子や支援内容に関してのフィードバックが希薄であること。	・面談機会が少ないことについては、親御さんの来所の負担を考えた、また予定が合わないなど、様々な理由が複合的にあると考えられる。 ・お迎えがある場合にはその場で伝えることができるが、送迎の無い一人で行き来している子に対しては様子は電話連絡となり、それもまた特別な事があった場合に限定される。	・面談に関しては、積極的に要望を聞き取り、無理のない予定が組めるよう配慮しながら実施していく。 ・日々のフィードバックについては、単独での通所の子はなるべく定期的に電話連絡できるようにしていく。
3	地域とのつながりや社会資源の活用ができていないこと。	・リスク(情報の漏洩、安全管理など)や負担(準備、日程など)を考えて、こちらから積極的に声掛けてきていない。 ・職員の人員数や成熟度を鑑みて、万全の体制が取れるまで様子を伺っているのが現状。	・「広く理解を得る」「いざという時に力になってもらえる」「他者と関わる機会」という考えを職員間に周知する機会を作る。 ・社会資源の活用や地域イベントへの参加など、地域との繋がりが作れるように企画などといった形で積極的に取り入れていく。